

運用報告書 (全体版)

世界8資産リスク分散バランスファンド (目標払出し型)

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/内外/資産複合
信託期間	2020年3月27日から2030年7月11日までです。
運用方針	外国投資信託証券への投資を通じて得られる収益の獲得および外国投資信託における毎月の分配実施 [※] による定期的な投資信託財産の一部払い出しを目的とします。 ※実質的な投資元本の払い戻しにより一部または全部の額を充当することができます。
主要投資対象	「One ワールド・リスク・ディヴァーシフィケーション・バランス・ファンド (以下、「バランス・ファンド」といいます。)」円建受益証券と「ID AMマネーマザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
運用方法	バランス・ファンドでは、トータル・リターン・スワップ等を活用することで、主に日本、先進国、新興国の株式・債券、日本、先進国の不動産投資信託証券(リート)の8資産に分散投資を行い、中長期的に安定したリターンの獲得をめざします。 基準価額の変動リスクを年率4%程度 [※] に抑えながら、中長期的に安定した運用をめざします。 ※上記数値は目標値であり、常にリスク水準が一定であること、あるいは目標値が達成されることのいずれを約束するものではありません。また、上記数値は当ファンドの長期的なリスク水準の目標を表すものであり、当ファンドが年率4%程度の収益を目標とすることを意味するものではありません。上記数値が達成されるかどうかを問わず、実際の運用成績がマイナスとなる可能性があります。 各投資信託証券への投資割合は、資金動向や市況動向等を勘案して決定するものとし、バランス・ファンドの組入比率は、原則として高位とすることを基本とします。 1万口当たりの基準価額(過去に支払った収益分配金の金額は含みません。)が2,000円を下回った場合には、投資対象とする投資信託証券の売却を行い、一定期間後に繰上償還を行います。
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。 デリバティブ取引の直接利用は行いません。 外貨建資産への直接投資は行いません。
分配方針	毎決算時(原則として毎月11日、休業日の場合は翌営業日)に、原則として以下の方針に基づき収益の分配を行います。 ①分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益および売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。 ②分配金額は、委託者がバランス・ファンドの分配金を原資として、基準価額水準、市況動向等を勘案して、決定します。分配金は投資収益にかかわらず、委託者があらかじめ定める目標分配水準に応じて支払うことをめざします。結果として、この投資信託から分配される分配金額の一部または全部が、実質的な投資元本の払い戻しにより行われることがあります。また、分配対象額が少額の場合は分配を行わない場合があります。 ※第1期(2020年5月11日)の決算は収益分配を行いません。

愛称：しあわせのしずく

第22期	<決算日	2022年2月14日>
第23期	<決算日	2022年3月11日>
第24期	<決算日	2022年4月11日>
第25期	<決算日	2022年5月11日>
第26期	<決算日	2022年6月13日>
第27期	<決算日	2022年7月11日>

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

さて、「世界8資産リスク分散バランスファンド(目標払出し型)」は、2022年7月11日に第27期の決算を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

<運用報告書に関するお問い合わせ先>

コールセンター：0120-104-694

受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで

お客さまのお取引内容につきましては、購入された

販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2

<http://www.am-one.co.jp/>

世界8資産リスク分散バランスファンド（目標払出し型）

■設定以来の運用実績

作成期	決算期	基 準 価 額 (分 配 落)	準 価 額			投 資 組 入 比	信 託 証 券 率	純 資 産 総 額
			税 分 配	込 金 騰 落	率			
第1作成期	(設 定 日) 2020年3月27日	円 10,000		円 -	% -	% -	百万円 2,000	
	1期(2020年5月11日)	10,100	0	1.0	89.2	2,092		
	2期(2020年6月11日)	10,224	35	1.6	92.3	2,193		
	3期(2020年7月13日)	10,247	35	0.6	92.9	2,505		
第2作成期	4期(2020年8月11日)	10,281	35	0.7	93.8	3,267		
	5期(2020年9月11日)	10,176	35	△0.7	92.6	4,051		
	6期(2020年10月12日)	10,143	35	0.0	94.9	4,227		
	7期(2020年11月11日)	10,068	35	△0.4	96.1	4,829		
	8期(2020年12月11日)	10,253	35	2.2	95.8	5,361		
第3作成期	9期(2021年1月12日)	10,273	35	0.5	96.3	5,703		
	10期(2021年2月12日)	10,180	35	△0.6	97.4	5,859		
	11期(2021年3月11日)	10,088	35	△0.6	96.9	5,483		
	12期(2021年4月12日)	10,141	35	0.9	96.7	5,583		
	13期(2021年5月11日)	10,176	35	0.7	97.3	5,561		
	14期(2021年6月11日)	10,271	35	1.3	96.7	5,600		
第4作成期	15期(2021年7月12日)	10,321	35	0.8	96.7	5,560		
	16期(2021年8月11日)	10,375	35	0.9	97.3	5,521		
	17期(2021年9月13日)	10,379	35	0.4	96.8	5,502		
	18期(2021年10月11日)	9,966	35	△3.6	97.1	5,351		
	19期(2021年11月11日)	10,049	35	1.2	95.7	5,469		
	20期(2021年12月13日)	9,892	35	△1.2	97.0	5,396		
第5作成期	21期(2022年1月11日)	9,719	35	△1.4	96.8	5,274		
	22期(2022年2月14日)	9,479	35	△2.1	96.4	5,152		
	23期(2022年3月11日)	9,133	35	△3.3	97.8	4,884		
	24期(2022年4月11日)	8,993	35	△1.1	96.7	4,786		
	25期(2022年5月11日)	8,793	35	△1.8	96.8	4,668		
	26期(2022年6月13日)	8,592	35	△1.9	97.0	4,539		
	27期(2022年7月11日)	8,553	35	△0.0	96.9	4,468		

(注1) 設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しております。

(注2) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注3) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指標を定めておりません。

(注4) 「投資信託受益証券組入比率」にはマザーファンドの比率を含みません。

(注5) △（白三角）はマイナスを意味しています（以下同じ）。

■過去6ヶ月間の基準価額の推移

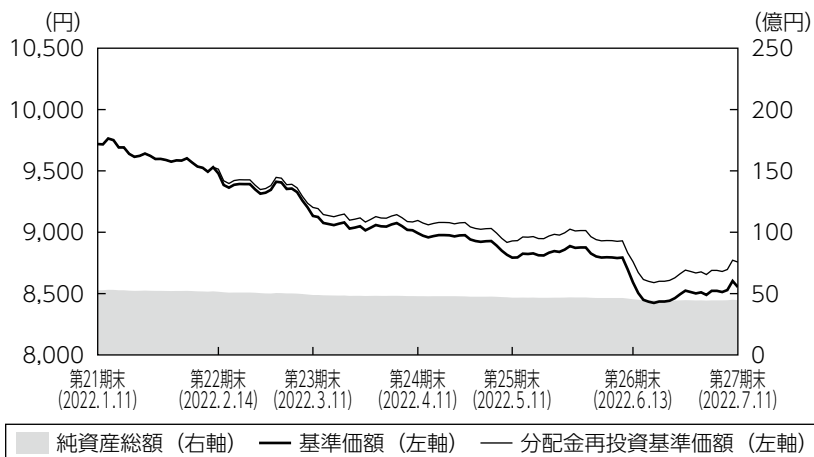
決算期	年 月 日	基準 価 額		投資信託受益証券 組 入 比 率
		騰	落 率	
第22期	(期 首) 2022 年 1 月 11 日	円	%	%
		9,719	-	96.8
	1 月 末	9,575	△1.5	96.5
第23期	(期 末) 2022 年 2 月 14 日	9,514	△2.1	96.4
	(期 首) 2022 年 2 月 14 日	9,479	-	96.4
	2 月 末	9,322	△1.7	97.4
第24期	(期 末) 2022 年 3 月 11 日	9,168	△3.3	97.8
	(期 首) 2022 年 3 月 11 日	9,133	-	97.8
	3 月 末	9,048	△0.9	96.9
第25期	(期 末) 2022 年 4 月 11 日	9,028	△1.1	96.7
	(期 首) 2022 年 4 月 11 日	8,993	-	96.7
	4 月 末	8,927	△0.7	96.8
第26期	(期 末) 2022 年 5 月 11 日	8,828	△1.8	96.8
	(期 首) 2022 年 5 月 11 日	8,793	-	96.8
	5 月 末	8,876	0.9	97.4
第27期	(期 末) 2022 年 6 月 13 日	8,627	△1.9	97.0
	(期 首) 2022 年 6 月 13 日	8,592	-	97.0
	6 月 末	8,510	△1.0	97.0
	(期 末) 2022 年 7 月 11 日	8,588	△0.0	96.9

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注2) 「投資信託受益証券組入比率」にはマザーファンドの比率を含みません。

■第22期～第27期の運用経過（2022年1月12日から2022年7月11日まで）

基準価額等の推移



第22期首： 9,719円
 第27期末： 8,553円
 (既払分配金210円)
 騰落率： △9.9%
 (分配金再投資ベース)

- 純資産総額 (右軸) — 基準価額 (左軸) — 分配金再投資基準価額 (左軸)
- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

当作成期は欧米各国の金融緩和の縮小や地政学リスクの高まりを受け、株式市場・債券市場ともに下落する展開となりました。為替市場では、米国の金利の上昇などを背景に、主要通貨に対して前作成期末対比で大幅な円安となりました。当ファンドは日々戦略を活用した積極的な資産配分調整を行いましたが、市場全体が下落する中で、基準価額も下落しました。

◆組入ファンドの作成期間の騰落率

組入ファンド	騰落率
One ワールド・リスク・ディヴァーシフィケーション・バランス・ファンド	△9.9%
D I A Mマネーマザーファンド	△0.0%

- (注) One ワールド・リスク・ディヴァーシフィケーション・バランス・ファンドの騰落率は、分配金を再投資したものとみなして計算したものです。

投資環境

当作成期は欧米各国の金融緩和の縮小や地政学リスクの高まりを受け、株式市場・債券市場ともに下落する展開となりました。作成中にはロシアのウクライナ侵攻を巡る和平交渉の進展期待等から反発する局面もあったものの、欧米各国におけるインフレへの懸念や中国における新型コロナウイルスの感染拡大等により不安定な相場となりました。

為替市場では、米ドル/円相場は、米国の金利が上昇したことから内外金利差が拡大したことや、日銀が金利上昇を抑制する姿勢を明確に示す中で、日米の金融政策の方向性の違いが意識されたことなどを材料に前作成期末対比で円安米ドル高となりました。ユーロはウクライナ情勢等を受けて対米ドルで下落しましたが、ユーロ圏のインフレ率の高まり等により対円では上昇しました。

国内短期金融市場では、3ヵ月物国庫短期証券利回りは日銀がマイナス金利政策を含む大規模な金融緩和政策を継続している影響により、マイナス圏で推移しました。

ポートフォリオについて

●当ファンド

One ワールド・リスク・ディヴァーシフィケーション・バランス・ファンドの組入比率は、原則として高位を維持し、D I A Mマネーマザーファンドへの投資も行いました。

●One ワールド・リスク・ディヴァーシフィケーション・バランス・ファンド

【基本配分戦略（月次）】

各投資対象に関する基本配分比率を月次で決定し、リバランスを行いました。期を通じ、安定資産へ60～70%程度、リスク性資産へ25～35%程度配分しました。

【機動的配分戦略（日次）】

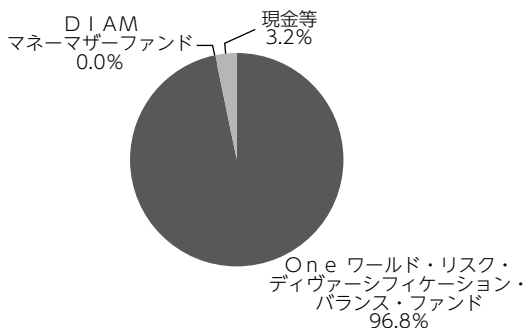
当作成期は市場が下落するリスクが高まったと判断したことから、当作成期の多くの期間でリスク性資産・安定資産の配分を下げ、現金等の配分を高める運用を行いました。

●D I A Mマネーマザーファンド

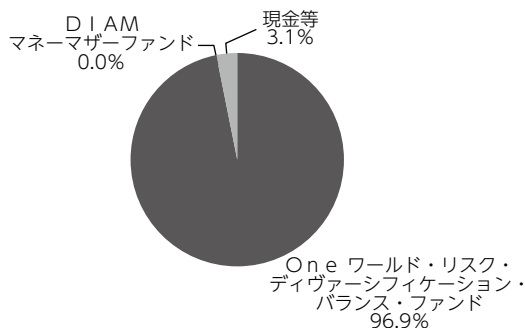
残存期間の短い国債などで運用を行いました。

ポートフォリオ構成 ※比率は純資産総額に対する割合です。

前作成期末



当作成期末



分配金

当作成期の収益分配金につきましては分配方針に基づき、以下の表の通りとさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	第22期	第23期	第24期	第25期	第26期	第27期
	2022年1月12日 ~2022年2月14日	2022年2月15日 ~2022年3月11日	2022年3月12日 ~2022年4月11日	2022年4月12日 ~2022年5月11日	2022年5月12日 ~2022年6月13日	2022年6月14日 ~2022年7月11日
当期分配金（税引前）	35円	35円	35円	35円	35円	35円
対基準価額比率	0.37%	0.38%	0.39%	0.40%	0.41%	0.41%
当期の収益	35円	35円	35円	35円	35円	35円
当期の収益以外	-円	-円	-円	-円	-円	-円
翌期繰越分配対象額	520円	532円	544円	555円	567円	579円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

●当ファンド

引き続き、One ワールド・リスク・ディヴァーシフィケーション・バランス・ファンドを組入れることを基本とした運用を行います。また、D I AMマネーマザーファンドへの投資も行います。

●One ワールド・リスク・ディヴァーシフィケーション・バランス・ファンド

基本戦略である基本配分戦略（月次）および機動的配分戦略（日次）に基づき、各投資対象の組入比率を定め、安定した収益の獲得をめざします。

●D I AMマネーマザーファンド

日銀は消費者物価指数が前年比2%の上昇となる物価安定の目標達成に向け、引き続き緩和的な金融政策を継続していくと予想しています。そのため、今後も公社債などへの投資を通じて、安定的な運用をめざします。

■ 1万口当たりの費用明細

項目	第22期～第27期 (2022年1月12日 ～2022年7月11日)		項目の概要
	金額	比率	
	(a) 信託報酬	28円	
(投信会社)	(10)	(0.114)	
(販売会社)	(16)	(0.180)	
(受託会社)	(1)	(0.016)	
(b) その他費用 (監査費用)	0 (0)	0.001 (0.001)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
合計	28	0.311	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

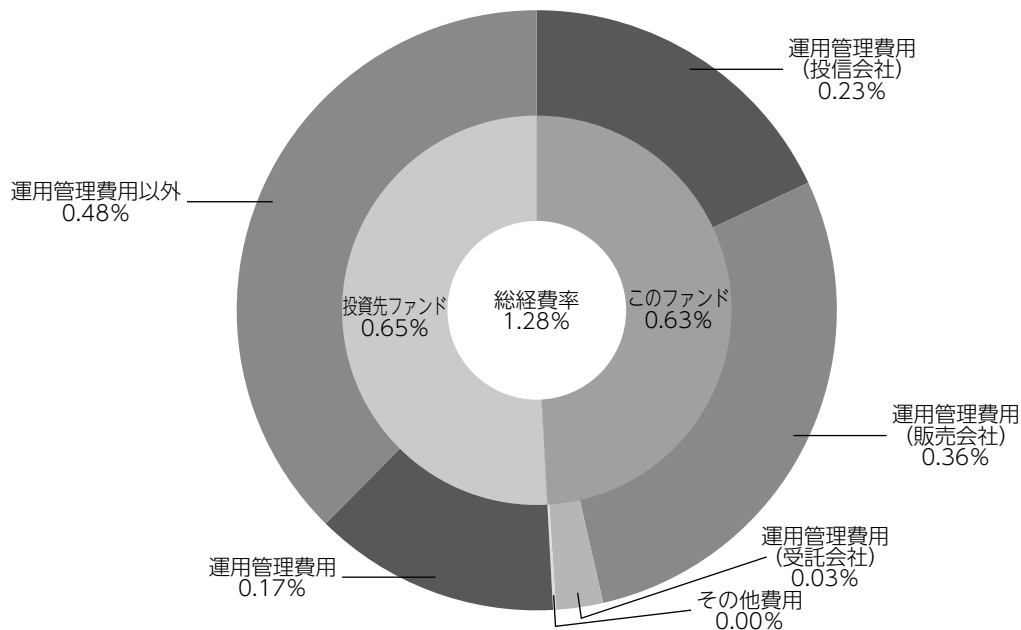
(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）が支払った費用を含みません。

(参考情報)

◆経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.28%です。



総経費率 (①+②+③)	1.28%
①このファンドの費用の比率	0.63%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.17%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.48%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買及び取引の状況（2022年1月12日から2022年7月11日まで）

投資信託受益証券

		第 22 期 ~ 第 27 期			
		買 付		売 付	
		□ 数	金 額	□ 数	金 額
外国 邦貨建	One ワールド・リスク・ディヴァーシフィケーション・バランス・ファンド	千□	千円	千□	千円
		—	—	13.561	113,000

(注) 金額は受渡代金です。

■親投資信託受益証券の設定、解約状況（2022年1月12日から2022年7月11日まで）

期中の親投資信託受益証券の設定、解約はありません。

■利害関係人との取引状況等（2022年1月12日から2022年7月11日まで）

期中の利害関係人との取引等はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

フ ァ ン ド 名	第 4 作 成 期 末		第 5 作 成 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額	比 率
One ワールド・リスク・ディヴァーシフィケーション・バランス・ファンド	千□ 551.427	千□ 537.866	千円 4,328,207	% 96.9
合 計	551.427	537.866	4,328,207	96.9

(注) 比率欄は純資産総額に対する比率です。

(2) 親投資信託残高

	第 4 作 成 期 末		第 5 作 成 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額	評 価 額
D I A M マ ネ ー マ ザ ー フ ァ ン ド	千□ 99	千□ 99	千円 99	千円 99

■投資信託財産の構成

2022年7月11日現在

項 目	第 5 作 成 期 末	
	評 価 額	比 率
投 資 信 託 受 益 証 券	千円 4,328,207	% 96.4
D I A M マ ネ ー マ ー フ ァ ン ド	99	0.0
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	162,634	3.6
投 資 信 託 財 産 総 額	4,490,942	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨ててあります。%は、小数点第2位を四捨五入しています。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2022年2月14日)、(2022年3月11日)、(2022年4月11日)、(2022年5月11日)、(2022年6月13日)、(2022年7月11日)現在

項 目	第 22 期 末	第 23 期 末	第 24 期 末	第 25 期 末	第 26 期 末	第 27 期 末
(A) 資 産	5,176,620,805円	4,920,323,982円	4,808,891,906円	4,707,011,748円	4,563,084,676円	4,490,942,317円
コール・ローン等	208,715,140	145,969,194	178,952,771	189,677,104	157,810,540	162,634,803
投資信託受益証券(評価額)	4,967,805,843	4,774,254,966	4,629,839,313	4,517,234,832	4,405,174,334	4,328,207,702
D I A M マ ネ ー マ ー フ ァ ン ド(評価額)	99,822	99,822	99,822	99,812	99,802	99,812
(B) 負 債	23,922,707	36,211,414	22,288,138	38,988,547	23,092,877	22,114,767
未払収益分配金	19,025,151	18,717,997	18,628,707	18,580,356	18,493,006	18,287,489
未払解約金	1,829,819	15,315,542	1,075,727	17,942,360	1,947,378	1,674,675
未払信託報酬	3,053,455	2,167,733	2,571,668	2,454,348	2,640,143	2,142,578
その他未払費用	14,282	10,142	12,036	11,483	12,350	10,025
(C) 純資産総額(A-B)	5,152,698,098	4,884,112,568	4,786,603,768	4,668,023,201	4,539,991,799	4,468,827,550
元 本	5,435,757,458	5,347,999,161	5,322,487,719	5,308,673,166	5,283,716,062	5,224,997,033
次期繰越損益金	△283,059,360	△463,886,593	△535,883,951	△640,649,965	△743,724,263	△756,169,483
(D) 受 益 権 総 口 数	5,435,757,458口	5,347,999,161口	5,322,487,719口	5,308,673,166口	5,283,716,062口	5,224,997,033口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,479円	9,133円	8,993円	8,793円	8,592円	8,553円

(注) 第21期末における元本額は5,427,435,960円、当作成期間(第22期～第27期)中における追加設定元本額は194,905,965円、同解約元本額は397,344,892円です。

■損益の状況

〔自 2022年1月12日 至 2022年2月14日〕〔自 2022年2月15日 至 2022年3月11日〕〔自 2022年3月12日 至 2022年4月11日〕〔自 2022年4月12日 至 2022年5月11日〕〔自 2022年5月12日 至 2022年6月13日〕〔自 2022年6月14日 至 2022年7月11日〕

項 目	第 22 期	第 23 期	第 24 期	第 25 期	第 26 期	第 27 期
(A) 配 当 等 収 益	27,559,419円	27,491,130円	27,192,944円	27,101,837円	27,185,497円	26,880,040円
受 取 配 当 金	27,562,503	27,492,506	27,193,550	27,104,388	27,188,690	26,883,890
受 取 利 息	25	89	12	6	-	428
支 払 利 息	△3,109	△1,465	△618	△2,557	△3,193	△4,278
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△135,363,724	△191,830,660	△80,049,722	△112,006,376	△112,130,607	△26,907,644
売 買 益	299,037	1,708,251	354,411	589,219	11,083	1,051,286
売 買 損	△135,662,761	△193,538,911	△80,404,133	△112,595,595	△112,141,690	△27,958,930
(C) 信 託 報 酬 等	△3,067,737	△2,177,875	△2,583,704	△2,465,831	△2,652,493	△2,152,603
(D) 当 期 繰 越 損 益 金 (A+B+C)	△110,872,042	△166,517,405	△55,440,482	△87,370,370	△87,597,603	△2,180,207
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△238,022,991	△360,431,257	△540,699,226	△606,516,058	△705,908,826	△798,625,056
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	84,860,824	81,780,066	78,884,464	71,816,819	68,275,172	62,923,269
(配 当 等 相 当 額)	(142,527,722)	(140,835,027)	(140,828,069)	(142,076,640)	(142,141,816)	(141,415,085)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△57,666,898)	(△59,054,961)	(△61,943,605)	(△70,259,821)	(△73,866,644)	(△78,491,816)
(G) 合 計 (D+E+F)	△264,034,209	△445,168,596	△517,255,244	△622,069,609	△725,231,257	△737,881,994
(H) 収 益 分 配 金	△19,025,151	△18,717,997	△18,628,707	△18,580,356	△18,493,006	△18,287,489
次 期 繰 越 損 益 金 (G+H)	△283,059,360	△463,886,593	△535,883,951	△640,649,965	△743,724,263	△756,169,483
追 加 信 託 差 損 益 金	84,860,824	81,780,066	78,884,464	71,816,819	68,275,172	62,923,269
(配 当 等 相 当 額)	(142,527,722)	(140,835,027)	(140,828,069)	(142,076,640)	(142,141,816)	(141,415,085)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△57,666,898)	(△59,054,961)	(△61,943,605)	(△70,259,821)	(△73,866,644)	(△78,491,816)
分 配 準 備 積 立 金	140,385,901	144,123,635	148,792,149	152,850,486	157,483,561	161,329,608
繰 越 損 益 金	△508,306,085	△689,790,294	△763,560,564	△865,317,270	△969,482,996	△980,422,360

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 分配金の計算過程

項 目	第 22 期	第 23 期	第 24 期	第 25 期	第 26 期	第 27 期
(a) 経費控除後の配当等収益	24,491,684円	25,313,256円	24,609,243円	24,636,006円	24,533,007円	24,727,437円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収 益 調 整 金	142,527,722	140,835,027	140,828,069	142,076,640	142,141,816	141,415,085
(d) 分 配 準 備 積 立 金	134,919,368	137,528,376	142,811,613	146,794,836	151,443,560	154,889,660
(e) 当 期 分 配 対 象 額 (a+b+c+d)	301,938,774	303,676,659	308,248,925	313,507,482	318,118,383	321,032,182
(f) 1万口当たり当期分配対象額	555.47	567.83	579.14	590.56	602.07	614.42
(g) 分 配 金	19,025,151	18,717,997	18,628,707	18,580,356	18,493,006	18,287,489
(h) 1万口当たり分配金	35	35	35	35	35	35

■分配金のお知らせ

決算期	第 22 期	第 23 期	第 24 期	第 25 期	第 26 期	第 27 期
1 万口当たり分配金	35円	35円	35円	35円	35円	35円

※分配金を再投資する場合、分配金は税引後自動的に無手数料で再投資されます。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・追加型株式投資信託の分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
 - 分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
 - 分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、分配金から元本払戻金（特別分配金）を控除した額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における受益者毎の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の受益者毎の個別元本となります。

One ワールド・リスク・ディヴァーシフィケーション・バランス・ファンド

当ファンドは「世界8資産リスク分散バランスファンド（目標払出し型）」が投資対象とする外国投資信託です。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

形 態	ケイマン籍外国投資信託／円建受益証券
主 要 投 資 対 象	<ul style="list-style-type: none"> ・実質的な投資対象は、日本、先進国、新興国の株式・債券、日本、先進国のリートなどです。 ・トータル・リターン・スワップを通じて、実質的に有価証券先物取引、ETF等に投資を行います。 ・有価証券先物取引やETFへの直接投資を行う場合があります。
投 資 態 度	<p>①トータル・リターン・スワップ等を活用することで、国内外の8資産に分散投資を行い、中長期的に安定的なリターンの獲得をめざします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本配分戦略に基づき、統計的手法を用いて、資産配分に影響を与える「変動要因」の偏りをなくすように、投資対象資産の基本配分比率および通貨配分比率を決定します。 <p>②基本配分戦略による「変動要因」の分散に加えて、機動的配分戦略に基づき相場環境の変化を判定し、組入資産を安定資産や現金等に入れ替えることで基準価額の下落の抑制をめざします。</p> <p>③基準価額の変動リスクを年率4%程度に抑えます。</p>
主 な 投 資 制 限	<ul style="list-style-type: none"> ・有価証券の空売りは行いません。 ・信託財産の純資産総額の10%を超える借入は行いません。 ・流動性に欠ける資産への投資は純資産総額の15%を超えないものとします。
投 資 顧 問 会 社	アセットマネジメントOne株式会社
受 託 銀 行	ブラウン・ブラザーズ・ハリマン・トラスト・カンパニー（ケイマン）リミテッド
管 理 事 務 代 行 会 社	ブラウン・ブラザーズ・ハリマン・アンド・カンパニー
保 管 銀 行	ブラウン・ブラザーズ・ハリマン・アンド・カンパニー

One ワールド・リスク・ディヴァーシフィケーション・バランス・ファンドIはケイマン籍外国投資信託で、2021年12月30日に会計期間が終了し、現地の公認会計士による財務諸表監査を受けて完了しています。以下は、2021年12月30日現在の財務諸表の原文の一部翻訳・抜粋したものです。

損益計算書
2021年12月30日に終了した年度

	日本円
投資収益	
受取利息	2,010
投資収益合計	<u>2,010</u>
費用	
支払利息	10,834,130
会計処理・管理事務手数料	7,138,958
投資運用報酬	6,446,493
専門家報酬	5,654,052
保管手数料	2,445,059
証券代行業手数料	1,629,568
信託報酬	1,097,666
登録手数料	608,776
費用合計	<u>35,854,702</u>
投資純損失	<u>(35,852,692)</u>
実現および未実現利益（損失）：	
実現純利益（損失）：	
スワップ契約	105,410,686
外貨建取引	5,513
実現純利益	<u>105,416,199</u>
未実現評価益（損）の純変動：	
スワップ契約	(39,381,102)
外貨建取引	2,778
未実現評価損の純変動	<u>(39,378,324)</u>
実現および未実現純利益	<u>66,037,875</u>
運用による純資産の純増額	<u>30,185,183</u>

投資有価証券明細
2021年12月30日現在

元本金額	証券銘柄	公正価値 日本円
	短期金融商品 (78.0%)	
	日本 (78.0%)	
	国債 (78.0%)	
4,000,000,000	Japan Treasury Discount Bill (0.13)% 満期 04/20/22 ^(a)	4,001,517,876
	日本合計 (取得原価¥4,001,517,876)	4,001,517,876
	短期金融商品合計 (取得原価¥4,001,517,876)	4,001,517,876
	投資有価証券合計 (取得原価¥4,001,517,876) 78.0%	4,001,517,876
	現金およびその他資産の負債超過額 22.0	1,125,679,593
	純資産 100.0%	5,127,197,469

(a) ゼロ・クーポン債です。レートは最終利回りを表しています。

店頭トータル・リターン・スワップ残高 2021年12月30日現在 (純資産比率(0.37)%)

通貨	契約先	想定元本	支払/受取	満期日	プレミアム 支払/(受取) 日本円	未実現評価益 /(損) 日本円	公正価値 日本円
JPY	Credit Suisse International	46,900	One World Risk-Diversification Balance Master Strategy ^(b)	03/15/2023		5 (19,322,805)	(19,322,800)
						5 (19,322,805)	(19,322,800)

(b) 上記のバスケット銘柄は、上場投資信託とデリバティブ契約で構成されています。

デリバティブ商品の評価額

潜在的なネットティング契約を含むファンドのデリバティブ・ポジションの要約は下表の通りです。

店頭デリバティブ商品	契約先	デリバティブ 資産額 日本円	デリバティブ 負債額 日本円	(受入)/差入 担保金* 日本円	純額** 日本円
トータル・リターン・スワップ 合計	Credit Suisse International	-	(19,322,805)	9,000,000	(10,322,805)
		-	(19,322,805)	9,000,000	(10,322,805)

* 実際に受領した、または差し入れた担保がある場合、その額は上記の表に記載されている額を超えることがあります。

** 純額は、債務不履行が生じた場合に支払期限となる、契約先に対する受取債権または支払債務の額を示しています。ネットティングは、同一の法的主体と同一の法的契約に基づいて行われる取引間で許可されています。

通貨略語：
JPY-日本円

D I A Mマネーマザーファンド

運用報告書

第13期 (決算日 2022年4月5日)

(計算期間 2021年4月6日～2022年4月5日)

D I A Mマネーマザーファンドの第13期の運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2009年10月29日から無期限です。
運用方針	安定した収益の確保をめざします。
主要投資対象	国内発行体の公社債、転換社債、ユーロ円債、資産担保証券ならびにCD、CP、コールローン等の国内短期金融資産を主要投資対象とします。
主な組入制限	株式への投資割合は、純資産総額の10%以下とします。 外貨建て資産への投資は行いません。

■最近5期の運用実績

決算期	基準価額		債券組入比率	新株予約権付社債(転換社債)	債券先物比率	純資産総額
	期騰	期中落率				
9期(2018年4月5日)	円	%	%	%	%	百万円 1,030
10期(2019年4月5日)	10,099	△0.0	71.1	—	—	16,167
11期(2020年4月6日)	10,098	△0.0	79.4	—	—	1,139
12期(2021年4月5日)	10,089	△0.1	69.3	—	—	1,064
13期(2022年4月5日)	10,080	△0.1	62.4	—	—	1,192
	10,071	△0.1	76.3	—	—	1,192

(注1) 債券先物比率は、買建比率－売建比率です。

(注2) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指標を定めておりません。

(注3) △ (白三角) はマイナスを意味しています (以下同じ)。

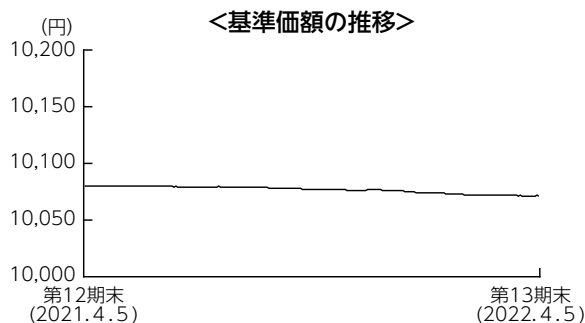
■当期中の基準価額の推移

年 月 日	基 準 価 額		債 組 入 比 率	新 株 予 約 権 付 社 債 (転 換 社 債) 組 入 比 率	債 先 物 比 率
	円	騰 落 率			
(期 首) 2021年 4 月 5 日	10,080	% -	% 62.4	% -	% -
4 月 末	10,080	0.0	61.9	-	-
5 月 末	10,080	0.0	63.1	-	-
6 月 末	10,079	△0.0	82.8	-	-
7 月 末	10,079	△0.0	63.7	-	-
8 月 末	10,078	△0.0	68.1	-	-
9 月 末	10,077	△0.0	68.1	-	-
10 月 末	10,077	△0.0	74.2	-	-
11 月 末	10,076	△0.0	74.2	-	-
12 月 末	10,074	△0.1	76.4	-	-
2022年 1 月 末	10,073	△0.1	76.4	-	-
2 月 末	10,072	△0.1	76.4	-	-
3 月 末	10,071	△0.1	76.4	-	-
(期 末) 2022年 4 月 5 日	10,071	△0.1	76.3	-	-

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 債券先物比率は、買建比率-売建比率です。

■当期の運用経過（2021年4月6日から2022年4月5日まで）



基準価額の推移

当期末の基準価額は10,071円となり、前期末比で0.1%下落しました。

基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主としてわが国の短期公社債に投資し、安定した収益の確保をめざした運用を行いましたが、日銀のマイナス金利政策の影響が大きく基準価額は前期末比で下落して期末を迎えました。

投資環境

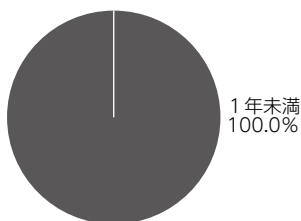
国内短期金融市場では、3ヵ月物国庫短期証券利回りは日銀がマイナス金利政策を含む大規模な金融緩和政策を継続している影響により、マイナス圏で推移しました。

ポートフォリオについて

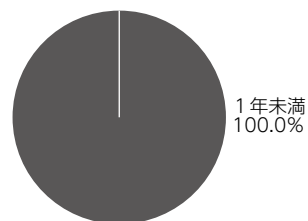
残存期間の短い国債などで運用を行いました。

【運用状況】 ※比率は組入債券の時価評価額に対する割合です。

○残存年限別構成比 期首（前期末）



当期末



今後の運用方針

日銀は消費者物価指数が前年比2%の上昇となる物価安定の目標達成に向け、引き続き緩和的な金融政策を継続していくと予想しています。そのため、今後も公社債などへの投資を通じて、安定的な運用をめざします。

■ 1万口当たりの費用明細

計算期間中に発生した費用はありません。

■ 売買及び取引の状況 (2021年4月6日から2022年4月5日まで)

公社債

		買 付 額	売 付 額
国 内		千円	千円
	国 債 証 券	911,871	(400,000)
	特 殊 債 券	—	(263,000)

(注1) 金額は受渡代金です(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

■ 利害関係人との取引状況等 (2021年4月6日から2022年4月5日まで)

期中の利害関係人との取引状況

決 算 期 区 分	当			期		
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	D/C
公 社 債	百万円 911	百万円 400	% 44.0	百万円 —	百万円 —	% —

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドにかかる利害関係人とは、みずほ証券です。

■組入資産の明細

公社債

(A) 債券種類別開示

国内（邦貨建）公社債

区 分	当 期				末		
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
					5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国 債 証 券	910,000	910,671	76.3	—	—	—	76.3
合 計	910,000	910,671	76.3	—	—	—	76.3

(注) 組入比率は、期末の純資産総額に対する評価額の比率であり、小数点第2位を四捨五入しています。

(B) 個別銘柄開示

国内（邦貨建）公社債銘柄別

銘 柄	当 期		末	
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
(国債証券)	%	千円	千円	
4 1 3 回 利付国庫債券（2年）	0.1000	210,000	210,060	2022/06/01
4 1 5 回 利付国庫債券（2年）	0.1000	200,000	200,120	2022/08/01
4 1 6 回 利付国庫債券（2年）	0.1000	200,000	200,154	2022/09/01
4 1 8 回 利付国庫債券（2年）	0.1000	200,000	200,216	2022/11/01
4 1 9 回 利付国庫債券（2年）	0.1000	100,000	100,121	2022/12/01
合 計	—	910,000	910,671	—

■投資信託財産の構成

2022年4月5日現在

項 目	当 期		末	
	評 価 額	比 率	評 価 額	比 率
	千円	%	千円	%
公 社 債	910,671	76.3	910,671	76.3
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	282,092	23.7	282,092	23.7
投 資 信 託 財 産 総 額	1,192,764	100.0	1,192,764	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨ててあります。%は、小数点第2位を四捨五入しています。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2022年4月5日)現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	1,192,764,024円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	281,847,683
公 社 債(評価額)	910,671,900
未 収 利 息	221,428
前 払 費 用	23,013
(B) 負 債	-
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	1,192,764,024
元 本	1,184,299,773
次 期 繰 越 損 益 金	8,464,251
(D) 受 益 権 総 口 数	1,184,299,773口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額(C/D)	10,071円

(注1) 期首元本額	1,056,034,563円	みずほジャパン・アクティブ・ストラテジー (通貨選択型) ブラジルリアルコース	9,925円
追加設定元本額	148,321,314円	USストラテジック・インカム・ファンド (年1回決算型) ヘッジあり	9,924円
一部解約元本額	20,056,104円	USストラテジック・インカム・ファンド (年1回決算型) ヘッジなし	9,924円
(注2) 期末における元本の内訳		マシュエズ・アジア株式ファンド	29,641,137円
短期ハイイールド債券ファンド (ヘッジあり)	990,775円	One世界分散セレクト (Aコース)	99,040円
バンクローン・ファンド (ヘッジなし)	15,843,407円	One世界分散セレクト (Bコース)	99,040円
バンクローン・ファンド (ヘッジあり)	13,867,169円	One世界分散セレクト (Cコース)	99,040円
新光バンクローン・ファンド・ネオ (円ヘッジ型)	5,049,059円	世界8資産リスク分散バランスファンド (目標払出し型)	99,109円
バンクローン・ファンド (ヘッジなし/年1回決算型)	1,088,285円	モルガン・スタンレーUSハイイールド債券ファンド (毎月決算型) (為替ヘッジあり)	188,380円
バンクローン・ファンド (ヘッジあり/年1回決算型)	98,095円	モルガン・スタンレーUSハイイールド債券ファンド (毎月決算型) (為替ヘッジなし)	109,063円
新光ビムコ・ストラテジック・インカム・ファンド10月号	3,959,763円	モルガン・スタンレーUSハイイールド債券ファンド (年1回決算型) (為替ヘッジあり)	297,442円
新光ビムコ・ストラテジック・インカム・ファンド11月号	989,197円	モルガン・スタンレーUSハイイールド債券ファンド (年1回決算型) (為替ヘッジなし)	118,977円
新光ビムコ・ストラテジック・インカム・ファンド12月号	494,102円	ファンドスミス・グローバル・エクイティ・ファンド	99,255,584円
新光ビムコ・ストラテジック・インカム・ファンド1月号	494,102円	期末元本合計	1,184,299,773円
新光ビムコ・ストラテジック・インカム・ファンド2月号	48,517円		
新光ビムコ・ストラテジック・インカム・ファンド3月号	395,083円		
新光ビムコ・ストラテジック・インカム・ファンド4月号	11,377円		
新光ビムコ・ストラテジック・インカム・ファンド5月号	98,027円		
新光ビムコ・ストラテジック・インカム・ファンド6月号	989,197円		
新光ビムコ・ストラテジック・インカム・ファンド7月号	395,083円		
新光ビムコ・ストラテジック・インカム・ファンド8月号	494,102円		
新光ビムコ・ストラテジック・インカム・ファンド9月号	494,102円		
ダブルライン・シラー・ケープ米国株式プラス<為替ヘッジあり>	791,316円		
ダブルライン・シラー・ケープ米国株式プラス<為替ヘッジなし>	2,474,972円		
クルーズコントロール	990,000,991円		
DIAM新興国ソブリンオープン通貨選択シリーズ<円コース>	870,000円		
DIAM新興国ソブリンオープン通貨選択シリーズ<豪ドルコース>	530,000円		
DIAM新興国ソブリンオープン通貨選択シリーズ<南アフリカランドコース>	70,000円		
DIAM新興国ソブリンオープン通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース>	10,530,000円		
DIAM新興国ソブリンオープン通貨選択シリーズ<中国元コース>	149,716円		
DIAM新興国ソブリンオープン通貨選択シリーズ<米ドルコース>	5,972円		
USストラテジック・インカム・ファンドAコース (為替ヘッジあり)	993,740円		
USストラテジック・インカム・ファンドBコース (為替ヘッジなし)	1,987,479円		
DIAM・ジャナス グローバル債券コアプラス・ファンド<D/C年金>	9,935円		
みずほジャパン・アクティブ・ストラテジー (通貨選択型) 円コース	9,925円		
みずほジャパン・アクティブ・ストラテジー (通貨選択型) 米ドルコース	9,925円		
みずほジャパン・アクティブ・ストラテジー (通貨選択型) 豪ドルコース	9,925円		
みずほジャパン・アクティブ・ストラテジー (通貨選択型) メキシコペソコース	9,925円		
みずほジャパン・アクティブ・ストラテジー (通貨選択型) トルコリラコース	9,925円		

■損益の状況

当期 自2021年4月6日 至2022年4月5日

項	目	当	期
(A)	配当等収益		1,715,799円
	受取利息		1,785,127
	支払利息		△69,328
(B)	有価証券売買損益		△2,682,620
	売却		△2,682,620
	買入		
(C)	当期損益金(A+B)		△966,821
(D)	前期繰越損益金		8,469,295
(E)	解約差損益金		△160,435
(F)	追加信託差損益金		1,122,212
(G)	合計(C+D+E+F)		8,464,251
	次期繰越損益金(G)		8,464,251

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (E)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。